

2年「ヒューマノイド」

観点を立てて、
他の小説と比べて読む

指導時期 2 学期

指導時間 4 時間

教科書
P.92-103

関連 学習指導書2上・P264

この指導案について

- P101「作者メッセージ」(QR)を活用して授業を組み立てる。「10代のころ、恥をかくのが怖くて仕方ありませんでした。というよりも今もそうです。なぜこんなに恥をかくことが苦手なんだろうな…と考えながらこの小説を書きました。少しでも楽しんでもらえればうれしいです。」と語る作者メッセージのキーワードは「恥」である。
- 「恥」というキーワードと伏線を、二つの柱として文章を読み解いていく。
- 「恥」というキーワードと伏線を観点にして、この作品と「アイスプラネット」や「走れメロス」を比較する。
- 比較することで、生徒は既習の小説や物語を違った視点から改めて読むことができる。文章の構成や表現の効果について考えていくためには、複数の文章を比較し、俯瞰しながら読むことが効果的である。また、自分の読書の履歴をたどりながら、それぞれの作品の共通点に気づくことも、読書の楽しみの一つといえる。

指導目標と評価

観点	指導目標	評価規準と評価方法
知識・技能	• 話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 [知・技 (1) オ]	• 話や文章の構成や展開について理解を深めている。(ノート・発言)
思考・判断・表現	• 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 [C読む (1) エ]	• 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(ワークシート)
主体的に学習に取り組む態度	• 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]	• 観点を立てて複数の作品を比較して読み解くことに粘り強く取り組み、今までの学習を生かして、考えたことを交流しようとしている。(発言・観察・ワークシート)

学習の流れ		は、本指導案の重点となる時間
時間	主な学習活動	学習指示・指導上の留意点など
1	作品を通読して、文章の構成や展開を捉える。 ① 作者メッセージ (QR) を読み、学習課題を確認する。 ② 本文を通読する。 ③ 「現在」 (大人の「僕」) と「過去」 (中学生の「僕」) を区別する。	• 作者メッセージを提示するとともに、作者について知っていることを出し合う場を設けるとよい。「恥」というキーワードや、伊坂氏ならではの伏線に着目して読んでいくことを確認しておきたい。 • 本文は七つの場面に分かれているが、「現在」と「過去」が混在している場面もあるので注意させる。
2 3	「恥」・伏線について考える。 [「恥」について] ④ 再び作者メッセージを読む。 ⑤ 作中で恥をかいている人物について捉える。 ⑥ 作者が「恥」をどのように捉えているかを読み取れる表現について話し合う。 [伏線について] ⑦ 【学習で用いる言葉】 (P103) を読み、伏線とは何かを理解する。 ⑧ 作品の中の伏線を探し、その効果について考える。	• 作中で恥をかく人物は「先輩社員」「僕」「タクジ」の3人である。それぞれどのような言動を恥と捉えているかを考えさせたい。 • 「恥をかく」「恥ずかしい」といった表現は、19か所あり、第3場面に特に多い。この場面のタクジの発言に注目させ、メッセージと関連づけて作者の「恥」に対する考え方を話し合わせる。 • 【学びのカギ】 (P103) では、伏線の例として「絵の具」が取り上げられている。この他にも過去と現在をつなぐ伏線として、「大勢の前で名前を呼ばれる」「恥ずかしい気持ちを理解できるロボットを作る」「耳まで赤くなる」「転ばないロボット」などがある。過去と現在ではどんな違いがあるかも捉えさせたい。
4	他の作品と比較し、文章の構成や表現の効果について考える。 ⑨ 「アイスプラネット」に見られる「恥」と伏線について考え、その効果を捉える。 ⑩ 「アイスプラネット」と「ヒューマノイド」を、「恥」・伏線という観点で比較し、その相違点や効果などについて考える。 ⑪ 既習の作品についても上記二つの観点で比較し、グループで交流する。	• 「恥」……級友にぐうちゃんの話をして、「小学生でも信じないぞ」と言われる。 • 伏線……ぐうちゃんの話をはらと決めつけていたが、後に写真によって事実だと分かる。 • 既習の作品を異なる観点から捉え直すことによって、新たな気づきが生まれることを期待したい。 • 1年生の作品や小学校の作品を振り返るのも楽しい。また、後日、「走れメロス」の学習をするときに、「おまえの恥ではない」「勇者は、ひどく赤面した」(恥)や、「結婚式の大雨→翌日の濁流がメロスの試練となる」(伏線)などを、取り上げるのもおもしろい。